

GT富山 & 和光の勉強会

2016-6-7

社会福祉法人 和光会
幼保連携型認定こども園和光

本日の予定

10:00-10:20

法人、園の紹介

副園長

10:20-11:20

園内見学

全員

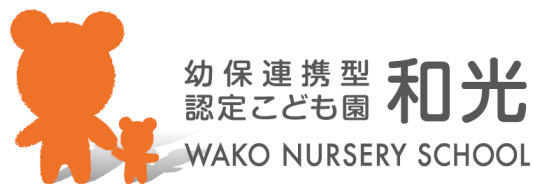
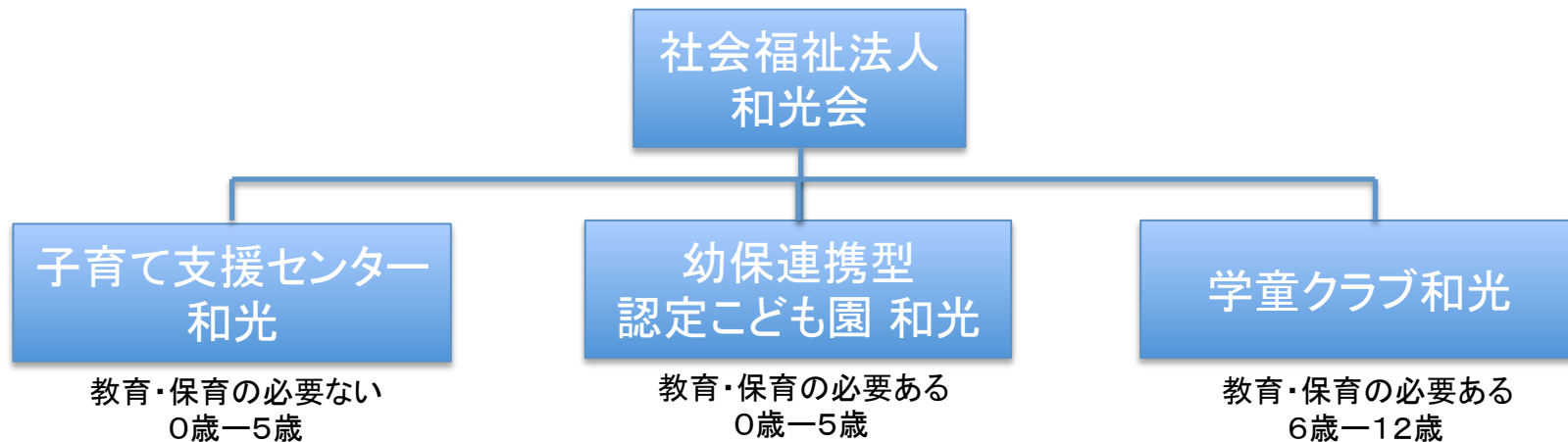
11:30-12:30

振り返り

全員

- 昭和53年4月 和光保育園(乳児)を開園
- 平成23年4月 移転新築、和光第二保育園に改称、3歳以上児保育を開始
- 平成27年4月 幼保連携型認定こども園に移行

組織



和光が認定こども園になった理由

時代の変化に素直に

こどもが大切だから



2001年1月
中央省庁再編
文部省＋科学技術庁＝文部科学省
厚生省＋労働省＝厚生労働省
運輸省＋建設省＋国土庁＋北海道開発庁＝国土交通省
環境庁＋厚生省（一部）＝環境省



KDDI + au



Softbank = Vodafone



アステラス製薬＝山之内製薬＋藤沢薬品工業



みずほ銀行＝富士銀行＋日本興業銀行＋第一勧業銀行

再編、合併、業務提携



Jフロントリテイグ＝大丸＋松坂屋



伊勢丹三越＝伊勢丹＋三越

無駄・重複の排除による高効率化



競争の激化・生き残り策

日本生命＋三井生命

平成27年から

理念 = 大切にしていること

福祉とは、目の前の困っている人々に助けの手をさしのべることである

目標 = こんなこどもになってほしくて

「21世紀型スキルをもった人を育てる」

少ない人口の若い世代が協力し、様々な課題を解決しながら、多くの年長者を尊敬し、支え、発展する社会

思いやり(協力)

問題解決能力(主体性)

効率(少ない人数で)

持続可能(発展)

和光の教育・保育

＜現状と課題＞

- 30年間続いた乳児保育園から5年前に3歳以上児の保育を開始した
- 以上児保育は乳児保育の延長線にあるが 和光にとっては、新しい分野である
- 幼保連携型認定こども園になり学校教育法の幼稚園教育を行わなければならない
- 経験が浅いゆえに、最新の理論を取り入れゼロから、和光Wayを作り出しているが、形にはなっていない
- 不注意だと、理屈の寄せ集めで全体像が不明確になり、理論・方法も筋が通らず、先生も園児もますます混乱し、質の低下が始まる

和光の教育・保育

＜環境は？＞

- すし詰め状態の青組の環境構成は改善が急務
- 赤組から、黄色組、青組への育ちの連続性を確保できているか？

和光の教育・保育

< 今後は >

- 見守る保育をとことん実践する
 - たてわりではない異年齢児保育
 - こども主体の保育
 - ねらいに応じた選択制の保育
 - かかわりを大切にした保育
 - チーム保育(集団としての先生たち)
- “ねらい”をさだめる、共有する
- 実践できる環境に変える
- 結果、身につくものは「21世紀型スキル」の基礎



言葉

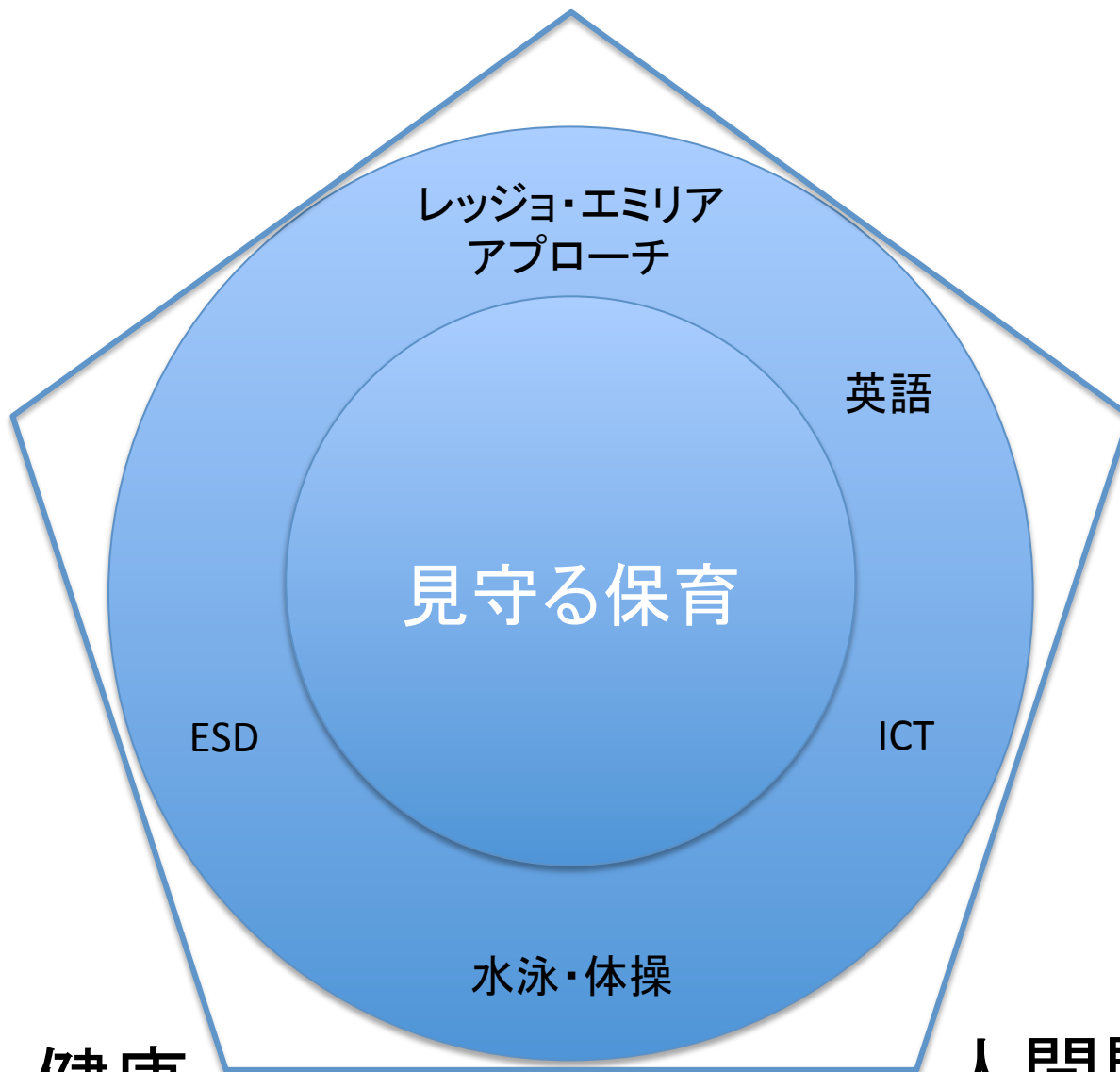
＜園児には＞

環境

表現

健康

人間関係



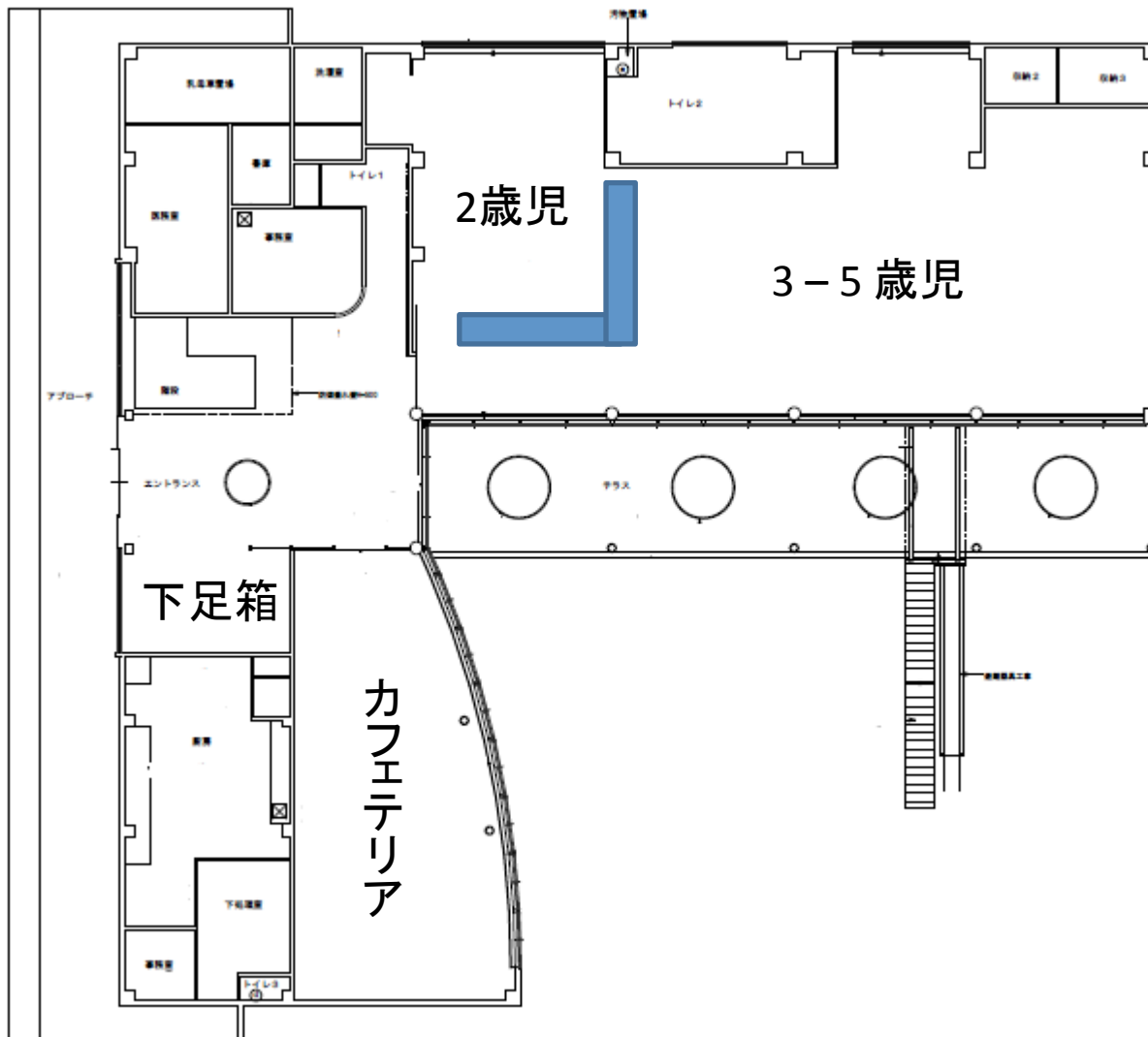
<先生には>

前向き
福祉の心
チームワーク
福祉の心
前向き

クラス編成

- 0歳から1歳 「赤組」 2階
- 2歳 「黄色組」 1階
- 3歳から5歳 「青組」 1階

フロアの案内 1 階



フロアの案内 2 階

